

「Think Globally, Act Locally」

～あなたは2030年の世界をどう生きる？～

日 時 令和5年9月6日（水） 第5校時
 場 所 7年教室
 学 級 第7学年1組（33名）2組（34名）3組（32名）

1 単元のデザイン

本単元の目標

貧困、紛争、感染症、気候変動、資源の枯渇といった人類共通の問題であるSDGsについて調べることを通して、SDGsが自分たちの身近な生活と結びついていることに気づき、持続可能な社会の創造のために自分たちにできることを見つけ実践することができるようにするとともに、2030年の未来で社会に貢献できる自分を目指す。

単元観

SDGsは国連が世界の明るい未来のために、2030年までに地球上のさまざまな問題を世界中の人々が協力して解決していこうと決めた17の持続可能な開発目標である。2030年という、子供たちにとって遠くない未来であり、その多くは二十歳を迎えた成人として、社会人として、社会に貢献しているはずである。そしてその未来は、今の身近な生活と深いつながりがあり、今から積極的にSDGsに関わっていくことで、2030年をよりよい社会に変えていくことができるはずである。これから先、社会貢献や将来展望を考えていく中で、このSDGsを教材として扱うことは、後期課程の始まりとしての7年生にふさわしい教材であると考えられる。

そこで本単元は、人類共通の問題について調べたり解決方法を考えたりする活動を通して、自分たちの身近な生活とSDGsに関連する17の世界の課題とがつながりを持って結びついている相互性を理解し、2030年の未来で社会に貢献できる自分を目指しながら、持続可能な社会の創造のために、今から自分たちにできることを見つけ実践することができるようにすることをねらいとする。

よりよい社会の創造を考える中で、世界規模で生じる課題と出会うことにより、「自分の力で解決することができた」「自分が学習したことが身近な生活や地域の役に立った」等の、課題の解決に取り組んだことへの自信や自尊感情が生まれ、持続可能な社会の形成者として、社会への参画意識も醸成されていくと考える。

児童生徒観

1学期の学習を終えた後、本学年の生徒99名を対象に総合的な学習の時間に関する意識調査を行った結果は以下の通りである。

	内容	肯定的評価
①	総合的な学習の時間では、単元を貫く大きな問いとなる課題が設定されている。	94.4%
②	毎回その時間で達成する課題を意識して学習している。	86.5%
③	課題を解決するために、様々な方法で情報を収集している。	85.2%
④	調べたことなどを、必要に応じて図やグラフ、表などにまとめている。	83.9%
⑤	情報を比べたり(比較)、仲間分けしたり(分類)、関係を見つめたり(関係づけ)して、何が分かるかを考えている。	80.7%
⑥	自分たちが取り組んでいる様々な活動について、何のためにするのか、その目的について意識できている。	77.5%

以上の結果から、本学年の生徒は、⑥自分たちが取り組んでいる様々な活動について、何のためにするのか、その目的についての意識が他の項目と比べると低いことに課題がある。そのため、本単元を学習するとすると、人類共通の問題を知りSDGsの重要性を理解しつつもそれを他人事として捉え、自分たちが解決していかなければならない課題として取り組むことができない状況が予測される。

そこで、現状として「何が問題なのか」「何のために学習をするのか」「なぜ課題の解決に取り組まなければいけないのか」を意識させる課題の設定を行い、これまでの生活や学習と、これからの社会の動きとの両面を相互に結び付け、よりよい社会の創造について考えたり課題を解決したりしていくために、SDGsについての単なる知識の積み上げではなく、「検証」を前提とする実践を意識した課題発見・解決型の探究を行うことをねらいとする。

指導観

○課題の設定では、学習の必然性や自分事として意識できる場面を設定するために、「理想」と「現実」のズレから課題を捉えさせる手法を用い、疑問や驚きなどから問題を見だし、これまでの考えとのずれや隔たり、対象への可能性を感じさせることで学習の目的意識を持たせる。

○複数グループでの探究活動を取り入れ、他のグループの意見や異なる意見を取り入れたり尊重したりすることで自己の考えを広げ、多面的・多角的にSDGsの解決に向けた実践にかかわる糸口を見つけられるようにする。

○「検証」の視点を取り入れ、SDGsに関して自分たち生徒や周囲の大人たちの意識がどう変容したかが見とれるようなデータを収集させる。

○毎時間、学習のゴールや目的を明確にすることで、個人及び集団の学習の質も高め、探究的な学びのよさに気付かせる。

2 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
本 単 元	<p>① (知識) 持続可能な社会を維持していくためには、自然・社会・環境といった身の回りの様々なものが相互に影響し合っていることを理解している。【相互性】</p> <p>② (技能) 集めた情報を、状況に応じて思考ツールを使い分けて活用し、多面的・多角的に整理・分析している。 【整理・分析場面】</p> <p>③ (探究的な学習のよさの理解) 探究的な学習を通して、持続可能な社会についての考え方の変容がみられている。</p>	<p>① (課題設定) 出会った探究課題をもとに、自分たちが解決すべき課題を設定している。</p> <p>② (情報収集) 調べたい情報について複数の収集方法を知り、その中から適切な方法を使って情報を収集している。</p> <p>③ (整理・分析) 収集した情報を比較・関係づけ、多面的・多角的に整理・分析している。</p> <p>④ (まとめ・表現) 相手意識・目的意識・評価意識をもち、自分の考えに基づき、効果的な方法で分かりやすく表現している。</p>	<p>① (自己理解・他者理解) 他者の意見や異なる意見を尊重し、自己の考えを広げ深めようとしている。</p> <p>② (主体性・協働性) 自他のよさを生かしながら協力しようとし、課題解決に向けて自主的に取り組もうとしている。</p> <p>③ (社会参画・将来展望) 学習を振り返り、自分のよさに気づき、実生活との関わりの中で自分にできることを見つけ、実社会に参加したり参画したりしようとしている。</p>

3 本単元に関わる問い

本質的な問い	単元を貫く問い	個別の問い
私達は、どのように生活をして持続可能な社会をつくっていけばよいのだろうか？	持続可能な社会を築くために、自分たちはどのように身近な社会に貢献できるだろうか？	<ul style="list-style-type: none"> ・人類共通の課題には何があるだろうか？ ・世界の様々な課題を解決するためのSDGsと、自分たちの生活はどう結びついているだろうか？ ・なぜSDGsは大切なのに、人々は取り組もうとしないのだろうか？ ・2030年の未来に向けて、今から自分たちにできることって何だろうか？

4 単元と評価の計画（全42時間）

次（時数）	ねらい・学習活動	評価			
		知	思	態	評価方法
1 SDGsって何だろう (8)	課題の設定 <ul style="list-style-type: none"> ・人類共通の課題，世界の問題について知る。 ・ユニセフ資料から，世界の現状を知る。 ・2030年の世界(府中)が，どうなっているか考える。 ・自分の意見と友達の見解を比べる。 ・世界の現状から，SDGsについて知る。 	①			・行動観察
	情報収集 <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの17の達成目標について，情報を収集する。 (インターネット，図書館，パンフレット) 				
	整理・分析 <ul style="list-style-type: none"> ・17のグループに分かれ，情報を整理・分析する。 ・収集した情報の何を伝えるとよいかを考え，まとめる。 	②		①	・ノート ・行動観察
	情報収集 <ul style="list-style-type: none"> ・学年で共通理解を図るために，SDGsについてまとめた情報を発表し，共有する。 			④	・発表内容

自分達が20歳の頃
どう世界は変わっている？

17のグループに分かれ，
「それぞれの目標がなぜ
設定されているのか？」
「目標に書かれていること
はどのような意味なのか？」
を情報収集



集めた情報を，グループごとに発表
発表の目的は，「SDGsについて説明して，全員のスタートラインをそろえよう！」
(=それぞれのグループで調べた内容を自分の知識にして，SDGs17の達成目標をみんなの共通認識にする)

	<ul style="list-style-type: none"> 他学年や先生方からのアドバイスをもらい、内容の改善案を考える。 実践・検証 → 整理・分析 → 新たな課題 各グループで改善する。 		④	①	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 発表内容
			③	②	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 ノート
3	まとめ・表現	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちがまとめたSDGs達成のための手立てを伝える。 2030年の未来の自分に対して、これからの生活や考え方の変容をふまえて志を立てる。 	①	③	<ul style="list-style-type: none"> ノート
	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> これまでの活動を振り返り、自分たちが設定した課題が達成できたか振り返り、今後の生活との関わり方や自己の生き方について考える。 	③		<ul style="list-style-type: none"> ノート

立志式では、これまでの自分を考え、未来の自分の姿をイメージして今すべき目標を発表

検証を取り入れた単元のまとめ



5 本時の目標及び学習展開

(1) 本時の目標

SDGsの大切さは広く知られているのに、なぜ取り組む人が少ないのかを考えることで、自分たちができることは何かを考えることができる。

(2) 本時の学習展開

主な学習活動	○指導上の留意点 ★評価規準, ※評価方法																																																		
<p>1 これまで学習したSDGsのおさらいをする。(学年スペース)</p> <p>OSDGsとは、どんなものだったでしょうか。誰が何のために提唱してるの？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な開発目標をめざして、国連が世界の人々にむけて ・世界の様々な課題を解決して、より良い未来をつくるための約束 ・17の目標(ゴール)と、169の具体的な取組み(ターゲット) <p>2 アンケートの結果を確認する。(学年スペース)</p> <p>○この間のアンケートの結果が出ました。どんな結果になったと思いますか。(アンケート対象：7年・8・9年・社会人)</p> <p>①「SDGs」とは何か、説明することができますか。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>7年生</th> <th>8年生</th> <th>9年生</th> <th>社会人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>説明することができる</td> <td>88.6%</td> <td>43.1%</td> <td>64.6%</td> <td>37.3%</td> </tr> <tr> <td>説明することができない</td> <td>11.4%</td> <td>56.9%</td> <td>35.4%</td> <td>62.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>②SDGsの17の目標は、2030年までに解決できると思いますか。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>7年生</th> <th>8年生</th> <th>9年生</th> <th>社会人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>解決できると思う</td> <td>9.1%</td> <td>6.1%</td> <td>4.7%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>解決できないと思う</td> <td>53.4%</td> <td>53%</td> <td>73.8%</td> <td>47.5%</td> </tr> <tr> <td>どちらとも言えない</td> <td>37.5%</td> <td>40.9%</td> <td>21.5%</td> <td>47.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※それぞれの理由を「なぜそう思うのか」という形で問うアンケートにする。</p> <p>③SDGsの17の目標を達成するために、あなたが日頃の生活で何か実践していることはありますか。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>7年生</th> <th>8年生</th> <th>9年生</th> <th>社会人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実践している</td> <td>40.9%</td> <td>30.3%</td> <td>33.8%</td> <td>78%</td> </tr> <tr> <td>実践していない</td> <td>59.1%</td> <td>69.7%</td> <td>66.2%</td> <td>22%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">↑</p> <p>○みんなは結果を見てどう思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsについて理解している人は意外に多かったが、逆に解決できると思っている人が少ないと思った。 ・自分たちも大人も、何も実践していないという人が多く、これじゃSDGsの17の目標達成は進まないなと感じた。 <p>3 課題を設定する。(各クラス)</p> <p>○1学期みんなはSDGsについて調べる学習をしました。みんなSDGsの大切さは理解できたと思うけど、解決にむけて少しでも何か実際に取り組んでいますか？ →ロイロでアンケート実施</p>		7年生	8年生	9年生	社会人	説明することができる	88.6%	43.1%	64.6%	37.3%	説明することができない	11.4%	56.9%	35.4%	62.7%		7年生	8年生	9年生	社会人	解決できると思う	9.1%	6.1%	4.7%	5%	解決できないと思う	53.4%	53%	73.8%	47.5%	どちらとも言えない	37.5%	40.9%	21.5%	47.5%		7年生	8年生	9年生	社会人	実践している	40.9%	30.3%	33.8%	78%	実践していない	59.1%	69.7%	66.2%	22%	<p>○1学期に自分達が学習して学んだことなどを想起させる。その中で、SDGsの17の目標が達成されることは、よりよい未来をつくることができるという「理想」を求めた計画であることを理解させる。</p> <p>○アンケートの結果について予測させながら結果を提示することで関心を引き出し、知りたいという意識を高める。</p> <p>○7年生はSDGsについて1学期学習したこともあり、高い数値であることを確認する。また、差はあるものの他学年や社会人まで広くSDGsの理解があることを認識させる。</p> <p>○「解決できる」「解決できない」の理由だけでなく、「どちらともいえない」と回答した人の意見をピックアップさせることで、そもそも自分で解決させようとしているのか？という疑問を持たせる。</p> <p>○自分を含め、SDGsについてある程度理解しているものの、取り組んではいない「他人事」であるという共通点に気付かせる。特に、大人の数値と7～9年生の数値を比較させ気付くことを述べさせる。</p> <p>○実践していないのか、実践できないのかの違いを考えさせる。</p> <p>○少しでも自分達が進めないといけないという使命感や、このままでは世界が課題だらけの未来になるという問題解決への必然性を感じさせる。</p> <p>○アンケートの結果から、どの部分に疑問を持ち、どの部分を詳しく考えたいと思うかを問うことで、自分たちで課題を設定できるよう工夫する。</p>
	7年生	8年生	9年生	社会人																																															
説明することができる	88.6%	43.1%	64.6%	37.3%																																															
説明することができない	11.4%	56.9%	35.4%	62.7%																																															
	7年生	8年生	9年生	社会人																																															
解決できると思う	9.1%	6.1%	4.7%	5%																																															
解決できないと思う	53.4%	53%	73.8%	47.5%																																															
どちらとも言えない	37.5%	40.9%	21.5%	47.5%																																															
	7年生	8年生	9年生	社会人																																															
実践している	40.9%	30.3%	33.8%	78%																																															
実践していない	59.1%	69.7%	66.2%	22%																																															

OSDGsの問題は、2030年までに解決しないと考える人があなた達の中にも0%います。SDGsの問題をそのまま解決しない場合、どうなるのでしょうか？ →ロイロで書き込み、提出させる

解決しない場合の2030年を予測

- 食べ物がなくなる…
- 格差が広がって戦争になる…
- 資源がなくなる…

このままではやばい
なんとかしなければ

OSDGsの大切さは広く知られているのに、実際に取り組んでいる人が少ないのはなぜだろう。

○出てきて予測を、SDGs 17の目標に分類してみる。SDGsの取組をしていく「必然性」を感じさせる。

🌐 SDGsの達成のために、自分たちができる取組は何なのかを考えよう！

4 自分たち（SDGsに取り組んでいない）ができる取組を考える

○取組をしている人としてない人では、なにが違うの？

- SDGsを知らないのではないか？
- 自分たちより意識が高い。
- 個人じゃなくて、会社でとりくんでいる人もいるかもしれない。
- SDGsだと思っていなくても、取り組んでいる人もいるのかも。

○SDGsを知っていて、取り組んでいるSDGsを知っていて、取り組んでいないSDGsを知らなくて、取り組んでいるSDGsを知らなくて、取り組んでいないの4つのパターンがあることをおさえ、自分たちはどれにあてはまるのか考える。

○自分たちの意識が変わり取組をする人になるためには、何が必要なのか。

- 取組をしているという人に聞いてみる。
- 続けられることを見つけないといけないんじゃないか。
- 自分の身近で実際にSDGsの取組みを実践している人を探して参考にしてみるのはどう？

○個人思考のあとに、グループでの対話の時間を取り入れ、色々な意見を積極的に交流できる場を設ける。

○グルーブトーク中、曖昧な情報のままになっているものがある場合には問答を行い、情報を具体的にしていく。

5 振り返りを行う

○今回分かったこと、分からなかったこと、次回したいことを書いておきましょう。

- 自分達は、SDGsの問題を分かった気になっているだけだということに気付くことができた。
- いま自分にできるSDGsを見つけることができなかった。
- 次回は身のまわりにいる実践をしている人をどうやって探すのかを考えたい。

★SDGsの解決にむけ、自分たちがしなければいけないことは何なのかを考えることができる。

(思判表①) ※ノート